

別記様式第5号(第2条関係)

記 録 票

教育長	課長	主幹	課長補佐	係長	係員		
小西	真鍋			中川	大井	村重	浅井田
(関係課：)				報告者職名・氏名 副主任 嘉屋 祐作			
件名 令和元年度第3回教科用図書選定委員会 (小学校)				方法 <input checked="" type="checkbox"/> 来庁 <input type="checkbox"/> 出張 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他			
内容 <input checked="" type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 質問 <input type="checkbox"/> (こちらから) 照会 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> その他 ()							
令和元年 8月6日 16時00分				場所 大竹市役所1階職員休憩室			
出席者	総務学事課課長補佐兼教育指導係長 中川 副主任 嘉屋			相手方	【選定委員】 野崎 光弘 (大竹小学校長), 高橋 晴夫 (学識経験者), 平野 早百合 (学識経験者), 小城 和之 (玖波小PTA), 真鍋 和聰 (教育委員会)		
<p>1 はじめに 開会あいさつ (野崎会長)</p> <p>2 事務局説明</p> <p>(1) 配布資料の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大竹市教科用図書採択地区選定委員会答申整理表 ・各教科書会社の教科用図書 (各委員の前に設置) <p>(2) 審議内容の説明</p> <p>本日の会では, 配布した資料をもとに, 種目ごとに協議し, 最も適切と思われる教科書を選定し, その選定理由を明らかにして, 教育委員会への答申案の協議をしてもらいたい。</p> <p>なお, 前回開催の委員会で決まったとおり, 本選定委員会で1つの教科書に絞り込む事が難しい場合には, 最大2つの教科書を, できるだけ順位付けした形で選定してもらいたい。</p> <p>大竹市教科用図書採択地区選定委員会答申整理表は本日の協議内容を整理する形で自由に活用してもらいたい。</p>							

3 選定する教科書及び理由の協議（【委】選定委員，【長】会長）

○国語

【委】東書と光村で迷う。光村は教材が良い。以前は文量が多いという課題もあったが改善されている。東書は心に響く教材がある。書写は東書が良いと思っていて、国語と書写は同一発行者が望ましいので、総合的に考えて東書が良いと思う。加えて学習者が学びやすく、指導者が教えやすい、付けたい力を「言葉の力」として6年間意識して学べるようにしているので東書が良いと思う。

【委】書写と連動して考えると、国語は東書が良いと思う。光村と比較し、入門期を見たときに、光村は絵がちょっと古いと思う。逆に東書は字数の多さが気になるが、総合的に判断して東書が良いと思う。加えて、東書は図書館機能の活用について示されていると長所にあるので、東書が良いと思う。

【委】東書と光村は甲乙つけがたい。光村は説明の前に練習があるのが良い。ただ、その分文量が増えるという課題がある。物語や説明の後の手引について、光村は詳しくわかりやすい一方、東書は程よく抽象的に書かれていて、教師の裁量が活かされる部分がある。どちらも一長一短だが、書写は東書が良いと思うので、総合的に判断し、東書が良いと思う。

【長】東書1者を選定して良いか。

（全員了承）

選定理由

- ・単元の導入を1ページ設定し、「言葉の力（つけたい力）」「既習事項とのつながり」を示した上で、「つかむ」で課題を設定し、手引きで学習過程を示し、「ふり返る」では、単元導入の「言葉の力」を詳しくまとめる構成になっている。どの領域も基本的には同じである。
- ・「読むこと」の領域では、「問い」を基に学習が進められるよう、手引きの最初に主となる発問例が示され、経験の少ない教員でも扱いやすい。
- ・重点指導事項を示している「言葉の力」は、つながりを明確にできるよう前学年の「言葉の力」が、巻末に一覧で示している。
- ・思考を整理するツールとしてのノートやメモ、カード、図表など、情報の扱い方や工夫が具体的に示されている。
- ・全学年に図書館機能の活用について示されている。

○書写

【委】東書は大判で写真が大きい。また、「書写のかぎ」がわかりやすくてよい。また、主体性が重視されているし、他者と比べ書くところが多いと感じたので、東書が良いと思う。

【長】東書1者を選定して良いか。

(全員了承)

選定理由

- ・「書写のかぎ」を一単元に一つ配置し、「見つけよう」→「確かめよう」→「生かそう」→「ふり返って話そう」と学習過程を提示し、課題解決型の展開をしている。
- ・ワイドな紙面で手本が大きく見やすい。左利き用の写真，配置の工夫による利き手に関わらない文字の見えやすさなど，左利きへの配慮がされている。
- ・巻末には既習の「書写のかぎ」が一覧にまとめられていて，ふり返りやすい。

○社会

【委】東書と教出で迷った。教出は社会の学びについて研究していると感じた。東書は他者よりページ数が多いと感じたが，生活とのつながりを持たせながら考えさせる工夫がされていると感じた。

【委】教出は多文化共生，憲法論議，他国とのつながり等があり，作りが丁寧と感じたが，東書は主体的・対話的で深い学びを進めることができるように問題解決的な学習の充実が図られている。ここが一番大事な部分であり，東書が良いと思う。

【委】社会の見方・考え方を培うという点で，世の中の仕組みが分かる理論追究のための工夫がされている。また，学習したことを総合して，産業の特色を考え，まとめる工夫がされており，東書の方が内容的に深いと感じた。

【長】東書1者を選定して良いか。

(全員了承)

選定理由

- ・見開きごとに，冒頭に「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習過程と本時の目標に関する学習問題が示されている。
- ・主体的・対話的で深い学びを進めることができるように問題解決的な学習の充実を図っている。「まとめる」では，学習したことを振り返り，自分の考えを書いたり話し合ったりする表現活動を提示している。
- ・Dマークのある教材から，QRコードかアドレスを使ってインターネットを使った学習をすることができる。
- ・写真やイラスト等のキャプションの文頭に見開きごとの通し番号と矢印が挿入されている。

○地図

【委】帝国が良いと思う。大事なのは3年生に入ったとき、ずっと地図が使える。地図帳を使いこなす基礎力が育まれるようになっており、3年生の入門期にずっと入れる教科書と思う。

【委】帝国は地図の使い方の基礎がしっかり押さえられている。

【委】「地図のやくそく」、「地図帳の使い方」が非常にわかりやすい。あと、索引は非常に大事で、東書は索引が窮屈である。さらにパッと見たときの印象が、東書はとげとげしい。帝国はやわらかく見やすいので、帝国が良いと思う。

【長】帝国1者を選定して良いか。

(全員了承)

選定理由

- ・「地図って何だろう」「地図のやくそく」「地図帳の使い方」を12ページにわたって丁寧に扱い、地図帳を使いこなす基礎力を育むようにしている。
- ・人々のくらしが読み取れるように、土地の高さによる色分けに、市街地、田・畑など土地の使われ方による色分けを組み合わせた地図表現をしている。

○算数

【委】最初は日文がすっきりしていていいと思った。現在の啓林館の教科書は練習問題が少なく、きちんと身につくのか疑問に思っていた。しかし、今回の啓林館はつまずきやすい部分を丁寧に教えられるように作られている。練習問題についても増えている。さらに1年生のブロックが啓林館だけ5であり、他者は10である。例えば8を5と3と捉えるか、8と捉えるかで後々繰上り等での計算力に大きな差が出てくる。そういった意味で啓林館は5のかたまりを他者より重要視していると感じるので、啓林館が良いと思う。

【委】啓林館が良いと思う。基礎力の部分で、表示が大きく、色分けもされていて分かりやすい。東書はひっ算の色分けがなく、ポイントがわかりにくい。さらに、啓林館は毎時間の学習で問題解決的な学習ができるように課題が配列されている。関係図も独自のものを使用し、大事なポイントを強調している。

【委】啓林館は単元の前に既修事項、準備があって、それが適度な量で詳しく、簡単すぎずになっており、ずっと授業に入れる工夫がされている。

【長】啓林館1者を選定して良いか。

(全員了承)

選定理由

- ・「たてる」→「かける」→「ひく」→「おろす」の計算の順序が左から右へ見開き2ページを使って示されている。表示が大きく、色分けもされているので分かりやすい。

- ・毎時間の学習で、「学びのめばえ」マークのふきだしを入れて、「学習の進め方」の流れに沿った問題解決的な学習ができるように課題を配列している。
- ・既習事項を1ページ使って1mの値段を求めるのはわり算になることを、**数直線図**と**関係図**で説明し、言葉の式でまとめている。(関係図は啓林館独自のもの)

○理科

【委】東書と啓林館で迷う。東書は写真が大きく見やすい。

【委】科学的探究の仕方という点で、東書は問題→実験→まとめ又は問題→調査→まとめとなっており、啓林館は問題→予想と計画(仮説を立てる)→実験→結果→まとめ、問題→活動→まとめ又は問題→観察→結果→まとめとなっている。各単元、学習内容に応じて探究の仕方は変わる。2者ともよく考えられていると思うが、どちらかといえば啓林館の方が良いと思う。

【委】啓林館の仮説を立てる課程があるのは良いと思うが、その分ごちゃごちゃしてしまう懸念はある。大竹の子供にとってすっきり入ってくるのはどちらか悩むところであるが、理科こそ仮説というのは大事だと思う。

【委】東書も予想という課程がないわけではない。

【委】東書は大きくて見やすいが、6年生の教科書は逆に大きすぎると感じる。さらに東書は目次がわかりにくい。

【委】東書は字が大きすぎてバラバラな感じがする。啓林館の方がまとまりがあると感じる。

【委】東書は「学ぶ前の私」、「学んだあとの私」とあり、「ふり返ろう」でも理由とともに伝え合いましょうなど「学んだあとの私」とのセットで、対話的な学びが意識されていると思う。

【委】ふり返りの部分で、「ふり返ろうまとめノート」が良く、基礎の定着が図られると思う。

【委】東書はどれが大事なポイントかわかりにくい部分がある。啓林館の方がわかりやすいと思う。

【委】東書は高学年の教科書は大きすぎて、中学校に上がった時に教科書のギャップがすごいと思う。

【委】啓林館の課題である条件制御については、教科書を見ると東書と大きな差はないと思う。

【長】啓林館1者を選定して良いか。

(全員了承)

選定理由

- ・単元末の「ふり返ろうまとめノート」では、まとめの例が示され、「新しく学習した言葉」では理科用語が示されているため、基本的な内容を押さえ定着を図ることができる。

- ・単元はじめのページに「学習のめあて」が示され、「考えてみよう」「思い出してみよう」などで、既習内容を想起したり自分で問題を考えたりできるよう疑問が投げかけられているため、思考を促すことができると考えられる。
- ・巻末のプログラミング用「シート&シール」を用いて、まず条件と動作の組み合わせを紙で思考させた上で、プログラミング体験ができ、プログラミング的思考に適している。
- ・自然災害を扱う単元のはじめには、PTSDへの配慮事項がしめされており、配慮がある。

○生活

【委】東書は課題がない。啓林館と迷ったが、啓林館は課題に「文章表現が多く、文章表現が苦手な児童にとって意欲を持ちにくい」とあり、1・2年生にとっては、文章表現も大事だが写真や絵で表した方がいいと思うので、東書が良いと思う。

【委】東書はめあてや活動がはっきりしている。さらに、スタートブックが東書は1番充実していると感じた。

【長】東書1者を選定して良いか。

(全員了承)

選定理由

- ・写真資料が多く、被写体が鮮やかで大きいので分かりやすい。資料・写真から成長の様子を知ることができる。
- ・地域探検活動中の児童の会話が吹き出しで数多く示され、コミュニケーションを通して活動を展開していく様子がよく分かる。
- ・すごろく・絵本・巻物など多様な形式で自分のことをまとめる例が掲載されており、お互いの成長や自分の成長に気付くことができる。

○音楽

【委】教芸はリコーダーにおいて、3年生で下のドまで出る、教出は4年生。あと、タンギングでトゥヤル等に対し、教芸はトゥで表現している。これまではルという表現はあまりなかったもので、先生方は教芸の方がなじみがあると思う。さらに、教出は発声のポイントを示した記載がないと課題にあり、これは良くないと思う。

【委】リコーダーの部分は教芸の方が丁寧であると感じる。

【委】丁寧なのは教芸。鍵盤ハーモニカのところもドの位置がわかりやすい。またトライアングルや鈴の持ち方も教芸は載っているのに対し、教出はない。さらに、6年生の鑑賞の学習の仕方も教芸の方が丁寧であると思う。

【長】教芸1者を選定して良いか。

(全員了承)

選定理由

- ・ 1年間の学習内容が巻頭見開きで、系統的にイラストを使って表示されている。
- ・ キャラクターの吹き出しの中で、音や音楽を「音楽の見方・考え方」を働かせて捉えさせる工夫をしている。
- ・ 巻末の「ふり返りのページ」に各学年で学習した音楽を形づくっている要素が、関連するページ番号とともに記載されている。
- ・ 鑑賞したことをまとめる活動の中で、聴き取り方と話し合いの視点を記述している。

○図画工作

【委】開隆堂が良いと思う。要約の上2つの長所が非常に良いと思う。日文は吹き出しが多すぎるのと、作品数も多いと感じる。開隆堂の方が良いと思う。

【委】ほぼ同じ意見である。さらに要約上から4つ目の長所も非常にいいと思うので、開隆堂が良いと思う。

【長】開隆堂1者を選定して良いか。

(全員了承)

選定理由

- ・ 図画工作科の授業を通して育てたい3つの資質能力に対応した「学習のめあて」を各題材の冒頭に配置、その中の重点を下線・色で強調している。また3つの資質能力に対応したキャラクターも身近に感じさせる。
- ・ 重点的に育てたい力に対応した、児童が自己評価する際の手助けとなる「ふりかえり」を文で示してあり、文章が簡潔で分かりやすい。
- ・ 材料や用具の取り扱い、説明の仕方は、題材名の上に絵と写真で示し、分かりやすくしている。(写真が多い) 題材によって、配慮すべき内容を「安全」「かたづけ」の囲みを設けて具体的に示している。

○家庭

【委】家庭科は、生活にどう活かすかが大事だと思う。東書は最初のページに「あなたの生活をよりよく変えるチャンスです。」があり、そこから「生活を変えるチャンス！」につながっていて良いと思う。

【委】5年生のガイダンスが東書が良い。開隆堂は配列の中で、2学期にミシンや調理等あって厳しいのではないかと思う。バランスは東書の方が良いと思う。

【委】単元名についても、開隆堂はわかりにくく、東書の方がわかりやすい

【委】英語とのつながりの面でも、東書の方が工夫があると思う。

【長】東書1者を選定して良いか。

(全員了承)

選定理由

- ・全題材を3つの小題材（「見つめよう」、「計画しよう・実践しよう」、「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」）で展開することで、問題解決的な学習を進めることができる。
- ・学習指導要領で示された家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として設定し、全ての大題材のタイトル横に大切な視点を示している。「生活を変えるチャンス！」にも4つの視点から見つめ記述があり、生活をよりよく変えていくことを意識させている。実践例も具体的で分かりやすい。
- ・目次の裏ページに2年間分の学習が示されている「成長の記録」があり、自分で学習を振り返り3段階でチェックすることで自己評価することができるようになっている。
- ・巻末の「いつも確かめよう」の調理実習技能では、包丁で材料を切る際のいろいろな切り方が示されているが、写真とイラストの両方を使って切る順序まで詳しく説明されている。また、実寸大の写真が多く掲載されているため、紙面に手を載せて確認し、まねをしながら習得することができるなど技能を高める工夫となっている。よい例、悪い例が掲載されていることも児童にとっては分かりやすい。

○保健

【委】東書はめあてがはっきりしていて、記入するところも多くあってよいと思う。がん教育、医薬品含めた薬物、男女の体といった単元は東書、学研、光文がしっかり記載されていて、インターネット問題については光文、思春期については学研が詳しかったが、バランスという面では東書が良いと思う。

【委】東書が良いと思う。健康・安全の原理原則がはっきりと示されている。ポイントもまとめられていて、具体と抽象の往復で学ばせる。意図のある教科書だと思う。

【委】東書は活字が見やすいと思う。

【長】東書1者を選定して良いか。

（全員了承）

選定理由

- ・どの小単元も右ページから始まり、課題を発見する1ページをとっている。そして、次ページに学習の課題が記載されている。（課題がすぐにはわからない工夫か）
- ・ワークシート形式で書き込むスペースが多く、書いたり話したりする活動ができる。
- ・課題発見・思考・まとめの場面で記述できるスペースが充実している。（記入欄の幅が広く、書き込みがしやすい。）

○外国語

【委】東書が良いと思う。4線ノート、Can-Doリスト等充実していて、色々な子供に対応できる教科書だと思う。また、カードの切り離しにはさみが不要というのが良いと思う。

【長】東書1者を選定して良いか。

(全員了承)

選定理由

- ・Can-Doリストが別冊の「Picture Dictionary」の中に示されている。5年生と6年生の2年間を見通した目標の示し方となっている。また単元ごとの目標が示されている。
- ・ワードリストが「Picture Dictionary」として、別冊になっている。カラーのイラストとともに表示されており、ジャンル別にまとめられている。単語が4線上に書かれている。
- ・児童用カードの切り離しには、はさみを使わなくてもよい。各学年に、コミュニケーションカードという、それぞれの単元の言語活動で活用できる児童用カードがついている。

○道徳

【委】日文が良いと思う。まず道徳ノートが他者と比べていい。発問が多すぎるとよくないと思うが、日文は3問ぐらいに抑えており、主体的な学びが行えると思う。

【委】道徳ノートがいいと思う。また心のベンチで考えを深める工夫がある。1年生の入門期にも入りやすい教科書と思う。

【委】道徳ノートはあった方がいいと思う。日文は中心発問も適切であり、ふり返りの発問が指定されず、授業者に委ねられているのが良いと思う。

【長】日文1者を選定して良いか。

(全員了承)

選定理由

- ・学習内容一覧の中に、その教材に関わっている現代的な課題のテーマが書かれており、指導するのに役に立つ。
- ・教材のはじめに、登場人物をイラスト入りで提示している。また、導入となるあらすじが2行ほどあり、話のあらすじを理解しにくい児童にも内容を把握しやすく興味が持続できる。
- ・教材にあわせた「道徳ノート」があり、1教材1ページという指導の実践に即した構成となっている。また、終末の発問は、実態に応じた発問ができるようあえて発問を記載せず、空欄にしてあるため使用しやすい。

○選定結果

種目	発行者	種目	発行者
国語	東 書	音楽	教 芸
書写	東 書	図画工作	開隆堂
社会	東 書	家庭	東 書
地図	帝 国	保健	東 書
算数	啓林館	外国語	東 書
理科	啓林館	道徳	日 文
生活	東 書		

4 その他 事務局から

- (1) 本日の協議結果を整理し、事務局において教育委員会に対する答申案をまとめる。
- (2) 8月16日開催の教育委員会には野崎会長に出席してもらい、教育委員会へ答申をしてもらう。答申を受けた教育委員会において審議を経た上で、教育委員会として令和2年度から使用する小学校教科用図書を正式に採択することになる。

5 会長あいさつ（野崎会長）

6 閉会あいさつ（真鍋総務学事課長）